

Product News

インフルエンザウイルス感染の予防と管理に向け Lonza 社は Lonzagard®除菌洗浄剤の提供へ

2014年2月24日、ニュージャージー州（米国）— インフルエンザウイルスの発生は米国のほぼ全州に及んでおり、インフルエンザによる死亡者は若年層や中高年層の間で劇的に増加しているという米国疾病予防管理センター（CDC）の報告を受け、現在では、適切な消毒方法やその他の予防方法の必要性が重要視されています。

Lonza 社によるコンシューマケアのサニタリー事業では、極めて有効な除菌洗浄剤である Lonzagard®製品の豊富なラインナップを提供しています。これらの除菌洗浄剤は、病院や医療供給者、住宅所有者、学校での清掃業務員らが、重病の原因となる季節型のインフルエンザウイルスを除去する際に役立っています。

この時期におけるインフルエンザウイルスの発生は、世界的な問題となる可能性があります。欧州疾病予防管理センターによると、毎年、欧州人口の約 10%がインフルエンザによる合併症に感染し、多くの症例は重症で入院を伴います。

Lonza 社の様々な製剤は、硬質表面に付着した特定のインフルエンザウイルスを不活化させることが実証されています。これらの極めて有効な製品として、欧州では Lonzagard® DR-Series があります。米国では、A 型インフルエンザ株に対する検査を受けた様々な EPA 登録製品群として、Lonzagard® HWS-Series、R82-Series があります。

Hygiene & Preservation のグローバルマーケティングディレクターである Ernesto Lippert 氏は「今シーズン、インフルエンザワクチンを実際に接種しているのは対象者の 45%に満たないという CDC の推定を受け、頻繁に接触する表面に消毒シート、消毒スプレー、消毒液などの予防方法を用いることが一層重要である」と述べています。さらに、「様々な Lonzagard®製剤の検査が行われ、主要なインフルエンザ株に対する有効性が示されている。感染鎖を断ち切ることが可能であるこれらの製品を携帯することで安心感が得られる」としています。

概して、インフルエンザウイルスは Lonza 社製品のような除菌洗浄剤に感受性を示します。インフルエンザウイルスからの防御策として、世界保健機関では、石鹸、すなわち抗菌ハンドソープでの頻回かつ定期的な手洗い、および蛇口や冷蔵庫の取っ手、キッチンカウンター、浴室など頻繁に接触する表面を清潔にするための消毒剤や殺菌剤の使用を推奨しています。

Lonza Japan Ltd
39F St. Luke's Tower
8-1, Akashi-cho, Chuo-ku
JP-Tokyo 104-6591
www.lonza.com/japan

Product News

Lonzagard[®]製剤は、除菌シート、除菌スプレー、除菌液として使用でき、様々な表面に付着したインフルエンザウイルス、その他の病原性細菌や病原性ウイルスを素早く除去します。製品を安全にご使用いただくため、ご使用前にはラベル情報と製品情報を必ずお読みください。

Lonza 社によるコンシューマーケアのサニタリー予防事業について

Lonza 社にはカスタマーケア組織の一部として衛生予防事業がありますが、この事業では、消毒剤、殺菌剤、および業務用や家庭用の洗剤で用いられる登録済みの活性剤、防腐剤、製剤の幅広い製品ラインナップを提供しています。これらの液剤は、学校、食品加工工場、クルーズ客船、レストラン、食料品店、病院、住宅などで消毒・殺菌に使用されています。詳細は www.lonzabiocides.com でご覧いただけます。

本件に関する問い合わせ
ロンザジャパン株式会社
コンシューマーケア事業部
03-6264-0652